

鬼怒川・小貝川ブロック公述書

開催場所：しもだて地域交流センター アルテリオ
開催日時：平成19年3月2日

届出者の住所 栃木県 河内町

年代 60歳以上

性別 男性

公述人 1
鬼怒小貝-10

意見の概要

今回策定されます利根川水系河川整備計画は200年に一度の大洪水を想定し、20~30後の河川整備の目標・工事の目的、種類などを示す計画と聞いていますが、先に国土交通省が発表された浸水想定では、宇都宮・真岡など栃木県内12市町で約178平方キロが50センチから最悪5メートル以上浸水し、約67千人に被害が及ぶと予想されているのに、鬼怒川には堤防の未整備箇所や暫定区間が数多く残っているうえ、堤防の内部構造にも浸透性の高い材料で作られている堤防があるものと想定されます、また50年を経過した樋管も多く点在している。

環境の面でも、以前には全国の河川満足度調査で鬼怒川が全国一位、市民から大きな評価を受け、名誉にしてほしいとの記事のよに、3つの大きな頭首工による渇水時の流水が無く、魚の遡上にも適していない施設が見られるなどを踏まえ、是非計画策定を急ぎ実施計画の中に早期工事をお願いすべく意見を述べたい。

以下の部分について公表します

届出者の住所 茨城県筑西市

年代 (○で囲んで下さい) 10代未満・10代・20代・30代・40代・50代・60歳以上

性別 (○で囲んで下さい) 男性・女性

公述人 2
鬼怒小貝-11

意見の概要

- 1、 当連合の管轄する土地改良施設に鬼怒川本川から取水するための勝瓜頭首工があり、下流部が約7mの河床低下により、護床工が洗堀され頭首工本体も危険な状態に至っている。このことから、河川管理上及び河川環境上(魚が遡上出来ない)も支障があるため、鬼怒川下流域で既に設置している床止工的な施設を河川整備計画に位置付け、早急に設置されたい。
また、勝瓜頭首工上流部に土砂が堆積し管理に支障をきたしているため、土砂の排除を願いたい。
- 2、 勝瓜頭首工は鬼怒川3堰(佐貫・岡本・勝瓜)の最下流の取水工であるため、4月時期の降雨が少ない場合は、4月下旬から5月初旬の代掻き、田植え時期に必要な水量の確保が出来なくなることがあります。
今後も鬼怒川上流ダム群の弾力的な運用により用水の確保を願いたい。

公述人 3
鬼怒小貝-12

届出者の住所 茨城 県 筑西 市

年代 50代

性別 男性

意見の概要

1) 国民の生命財産を守る。

私は、昭和61年の小貝川の大水害を体験した者です。国民の生命財産を守事が第一と考えます。必要であればさらなる遊水地の建設をすべきでは

2) 異常気象に対応した計画を作る。

最近の温暖化に伴う気象の変動は予測しがたいものになっています。集中豪雨や干ばつ等我々の生活をおびやかすことになりかねません。

3) 子孫に豊かな環境を残す。

河川(水辺)には豊かな自然が残っています。地球環境が悪化する中でなるべく生態系を崩さない取り組みが必要である。